

事例4

< 事例概要 >

- ・ 80 歳代の患者。糖尿病、高血圧症合併。
- ・ 死因は、胆管損傷を起因とした敗血症による呼吸不全（推定）。死亡時画像診断（Ai） 無、解剖無。
- ・ 3 週間前に急性胆石胆嚢炎、播種性血管内凝固症候群を併発し入院。3 日後、経皮経肝胆嚢ドレナージ施行、内視鏡的逆行性胆道膵管造影後膵炎（Grade 1）を併発。1 週間後に腹腔鏡下胆嚢摘出術施行。
- ・ 総胆管と胆嚢頸部の癒着が強く剥離困難。術中出血量約200 mL、手術時間約4 時間。
- ・ 術後 1 日目、血液検査で総ビリルビンの上昇あり。内視鏡的逆行性胆道造影で総胆管の切断 n を確認した。術後2 日目、開腹し胆道再建術を施行したが、術後 28 日目に死亡。